



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月13日

上場会社名 株式会社SRAホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3817 URL <https://www.sra-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大熊 克美
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部財務・経理部長 (氏名) 小林 俊昭 TEL 03-5979-2666
 定時株主総会開催予定日 2026年6月25日 配当支払開始予定日 2026年6月10日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）※オンライン開催<Zoom使用>

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	53,279	3.2	8,244	3.8	9,500	16.9	5,601	65.8
2025年3月期	51,617	9.5	7,940	15.0	8,126	△5.2	3,377	△26.3

(注) 包括利益 2026年3月期 5,327百万円 (37.6%) 2025年3月期 3,871百万円 (△13.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	443.34	—	17.4	18.4	15.5
2025年3月期	267.48	267.19	11.3	16.5	15.4

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 11百万円 2025年3月期 △11百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	51,920	34,031	64.7	2,659.88
2025年3月期	51,448	31,103	59.9	2,438.30

(参考) 自己資本 2026年3月期 33,604百万円 2025年3月期 30,805百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	4,699	△1,816	△2,436	20,224
2025年3月期	5,778	△264	△1,907	19,738

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	80.00	—	100.00	180.00	2,274	67.3	7.6
2026年3月期	—	90.00	—	110.00	200.00	2,526	45.1	7.8
2027年3月期(予想)	—	100.00	—	120.00	220.00		50.5	

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,500	4.2	8,600	4.3	9,000	△5.3	5,500	△1.8	435.34

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2026年3月期	15,240,000株	2025年3月期	15,240,000株
2026年3月期	2,606,111株	2025年3月期	2,606,111株
2026年3月期	12,633,889株	2025年3月期	12,625,910株

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	3,971	53.2	3,599	61.2	3,531	62.9	3,498	61.4
2025年3月期	2,591	△14.1	2,233	△16.4	2,167	△17.1	2,168	△15.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	253.08	—
2025年3月期	156.93	156.77

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2026年3月期	9,758	99.1	9,672	99.1	9,672	99.1	699.68	
2025年3月期	8,893	99.0	8,800	99.0	8,800	99.0	636.59	

(参考) 自己資本 2026年3月期 9,672百万円 2025年3月期 8,800百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページをご覧ください。

・決算補足説明資料は、当社ホームページに速やかに掲載します。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等の注記)	13
(1株当たり情報の注記)	16
(重要な後発事象の注記)	16
4. その他	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におきましては、米中摩擦やウクライナ問題の長期化に加え、中東情勢の緊迫化など地政学リスクの高まりが続くなか、国内景気は緩やかながらも回復基調が継続しています。情報サービス産業におきましては、引き続き業務効率化やビジネス改革等の投資需要は堅調に推移しているものの、製造業の一部では、中国の景気停滞や米国の通商政策の影響を受けているお客様も存在しております。また、為替や株式等の金融資本市場の不安定に加え、原油価格の高騰や更なる物価や資材価格の上昇が、個人消費や企業投資へ与える影響につきましては、これまで以上に注視が必要な状況となっております。そのような中、当連結会計年度の連結業績につきましては次のとおりとなりました。

売上高は、開発事業、運用・構築事業、販売事業のすべてのセグメントで増加し、特に販売事業が好調に推移した結果、53,279百万円（前年同期比3.2%増）となりました。損益面におきましては、クラウドビジネスをはじめとしたより収益性の高い事業を進展させるとともに、特に開発セグメントにおきまして生産性向上や単価改善等が寄与した結果、売上総利益は13,743百万円（同4.3%増）、営業利益は8,244百万円（同3.8%増）となりました。なお、営業利益の増加に加え、前連結会計年度は171百万円の為替差損を計上していたのに対し、当連結会計年度では円安により722百万円の為替差益を計上したため、経常利益は9,500百万円（同16.9%増）となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、貸倒引当金223百万円の計上等により5,601百万円（同65.8%増）となりました。

なお、売上高、売上総利益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも過去最高を更新しております。

当連結会計年度の配当につきましては、昨年中間決算発表時に期末配当予想を90円から100円に増額しましたが、売上高、営業利益が概ね予想水準に達したこと、また、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が業績予想値を上回ったことに加え、売上高、各利益とも「過去最高」を更新したことから、更に10円増額して110円とし、中間配当金90円と合わせ年間配当金を前期比20円増額の200円とすることといたしました。

また、2022年10月18日公表の「配当方針の見直しに関するお知らせ」の通り、為替差損益など実現していない損益等が原因で親会社株主に帰属する当期純利益が変動する場合等においては、その影響を考慮し配当額を決定するとしており、当連結会計年度につきましては722百万円の為替差益等があったため、配当性向は45.1%となります。

◎連結業績の推移

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	
					直近業績公表値 2025年 5月14日公表	実績
売上高	40,203	42,864	47,125	51,617	53,500	53,279
営業利益	5,440	6,004	6,907	7,940	8,300	8,244
経常利益	6,463	7,201	8,575	8,126	8,150	9,500
親会社株主に 帰属する当期 純利益	3,577	879	4,584	3,377	4,900	5,601

当連結会計年度のセグメント別の売上高の状況は以下のとおりです。

●開発事業

開発事業は、金融業向け等が増加した結果、当事業の売上高は25,889百万円（前連結会計年度比1.1%増）となりました。

●運用・構築事業

運用・構築事業は、金融業向け及び製造業向け等が増加した結果、当事業の売上高は6,594百万円（同2.3%増）となりました。

●販売事業

販売事業は、株式会社A I Tにおいて、金融業向け大口案件もあり、当事業の売上高は20,795百万円（同6.3%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産合計は51,920百万円（前連結会計年度末比0.9%増）、負債合計は17,888百万円（同12.1%減）、純資産合計は34,031百万円（同9.4%増）となりました。

前連結会計年度末と比較した増減の主な内容は次のとおりです。

(資産)

長期貸付金が7,880百万円と2,005百万円増加、現金及び預金が20,936百万円と1,116百万円増加、投資有価証券が9,884百万円と560百万円増加、受取手形、売掛金及び契約資産が9,317百万円と523百万円増加した一方で、商品及び製品が1,494百万円と2,622百万円減少しました。

(負債)

未払消費税等が1,209百万円と622百万円増加した一方で、買掛金が4,362百万円と3,364百万円減少しました。

(純資産)

利益剰余金が26,055百万円と3,200百万円増加、その他有価証券評価差額金が4,239百万円と182百万円増加した一方で為替換算調整勘定が△1,020百万円と△575百万円変動しました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ486百万円増加し、20,224百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、4,699百万円（前連結会計年度は5,778百万円の獲得）となりました。これは、主に税金等調整前当期純利益が9,286百万円であり、法人税等の支払3,500百万円、仕入債務の増減△3,372百万円、棚卸資産の増減2,636百万円、為替差損益△722百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,816百万円（同264百万円の使用）となりました。これは、主に定期預金の預入による支出1,611百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、2,436百万円（同1,907百万円の使用）となりました。

これは、主に株主還元として総額2,400百万円の配当金の支払を行ったことによるものであります。

キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率(%)	61.6	59.9	64.7
時価ベースの自己資本比率(%)	106.0	106.8	112.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	0.0	0.0	0.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	2,723.6	5,099.3	3,338.7

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

2027年3月期の通期連結業績見通しにつきましては、売上高55,500百万円(前連結会計年度比4.2%増)、営業利益8,600百万円(同4.3%増)、経常利益9,000百万円(同5.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益5,500百万円(同1.8%減)を予想しております。なお、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては前年度比減少予想としておりますが、前年度は722百万円の為替差益を計上したのに対し、2027年3月期予想において為替差損益の発生を見込んでいないことによるものであり、為替要因を除けば増益計画となります。

2027年3月期の配当につきましては、株主還元の更なる充実を図るとの観点から、1株当たり年間配当金を当年度に比べ20円増額の220円(内訳は中間配当100円、期末配当120円)とする計画であり、この配当を実施した場合の配当性向は50.5%の見込みです。

これからも「株主還元の更なる充実を図る」という方針のもと、「安定的な高配当」を目指してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、将来における国際会計基準の適用に備え、社内のマニュアルや指針等の整備及びその適用時期について検討を進めております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,820	20,936
受取手形、売掛金及び契約資産	8,794	9,317
有価証券	66	51
商品及び製品	4,117	1,494
仕掛品	737	739
短期貸付金	1,788	147
未収入金	2,586	2,648
その他	609	641
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	38,516	35,973
固定資産		
有形固定資産		
建物		
建物	341	367
減価償却累計額	△268	△280
建物(純額)	73	86
機械装置及び運搬具		
機械装置及び運搬具	594	603
減価償却累計額	△544	△564
機械装置及び運搬具(純額)	49	39
その他		
その他	172	214
減価償却累計額	△126	△140
その他(純額)	46	73
有形固定資産合計	169	199
無形固定資産		
その他	734	795
無形固定資産合計	734	795
投資その他の資産		
投資有価証券	9,323	9,884
長期貸付金	5,875	7,880
繰延税金資産	586	596
差入保証金	370	357
退職給付に係る資産	46	45
その他	823	1,728
貸倒引当金	△4,972	△5,516
投資損失引当金	△25	△23
投資その他の資産合計	12,028	14,951
固定資産合計	12,932	15,946
資産合計	51,448	51,920

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,726	4,362
短期借入金	70	70
未払費用	1,243	1,428
未払法人税等	1,974	2,045
未払消費税等	587	1,209
前受金	3,871	3,770
賞与引当金	611	661
役員賞与引当金	178	191
工事損失引当金	95	—
受注損失引当金	—	19
資産除去債務	9	—
その他	274	278
流動負債合計	16,643	14,037
固定負債		
繰延税金負債	696	1,011
退職給付に係る負債	2,648	2,443
役員退職慰労引当金	350	382
その他	5	12
固定負債合計	3,701	3,851
負債合計	20,344	17,888
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	5,471	5,471
利益剰余金	22,854	26,055
自己株式	△2,083	△2,083
株主資本合計	27,243	30,443
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,057	4,239
為替換算調整勘定	△444	△1,020
退職給付に係る調整累計額	△50	△58
その他の包括利益累計額合計	3,561	3,160
非支配株主持分	298	426
純資産合計	31,103	34,031
負債純資産合計	51,448	51,920

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	51,617	53,279
売上原価	38,437	39,536
売上総利益	13,179	13,743
販売費及び一般管理費	5,238	5,498
営業利益	7,940	8,244
営業外収益		
受取利息	171	239
受取配当金	262	373
為替差益	—	722
その他	55	50
営業外収益合計	490	1,385
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	171	—
証券代行事務手数料	71	85
支払手数料	32	34
その他	28	8
営業外費用合計	304	129
経常利益	8,126	9,500
特別利益		
投資有価証券売却益	48	12
新株予約権戻入益	37	—
特別利益合計	86	12
特別損失		
投資有価証券評価損	210	—
投資有価証券売却損	5	2
貸倒引当金繰入額	1,587	223
その他	9	0
特別損失合計	1,812	225
税金等調整前当期純利益	6,401	9,286
法人税、住民税及び事業税	2,955	3,493
法人税等調整額	8	64
法人税等合計	2,963	3,558
当期純利益	3,437	5,728
非支配株主に帰属する当期純利益	59	127
親会社株主に帰属する当期純利益	3,377	5,601

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	3,437	5,728
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47	182
為替換算調整勘定	541	△575
退職給付に係る調整額	△60	△7
その他の包括利益合計	433	△401
包括利益	3,871	5,327
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,811	5,199
非支配株主に係る包括利益	59	127

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000	5,186	21,998	△2,134	26,049
当期変動額					
剰余金の配当			△2,521		△2,521
親会社株主に帰属する当期純利益			3,377		3,377
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		188			188
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		97		51	149
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	285	856	51	1,193
当期末残高	1,000	5,471	22,854	△2,083	27,243

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	4,104	△986	10	3,128	49	—	29,227
当期変動額							
剰余金の配当				—			△2,521
親会社株主に帰属する当期純利益				—			3,377
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動				—			188
自己株式の取得				—			△0
自己株式の処分				—			149
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△47	541	△60	433	△49	298	682
当期変動額合計	△47	541	△60	433	△49	298	1,876
当期末残高	4,057	△444	△50	3,561	—	298	31,103

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000	5,471	22,854	△2,083	27,243
当期変動額					
剰余金の配当			△2,400		△2,400
親会社株主に帰属する当期純利益			5,601		5,601
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					—
自己株式の取得					—
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	3,200	—	3,200
当期末残高	1,000	5,471	26,055	△2,083	30,443

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	4,057	△444	△50	3,561	—	298	31,103
当期変動額							
剰余金の配当				—			△2,400
親会社株主に帰属する当期純利益				—			5,601
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動				—			—
自己株式の取得				—			—
自己株式の処分				—			—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	182	△575	△7	△401		127	△273
当期変動額合計	182	△575	△7	△401	—	127	2,927
当期末残高	4,239	△1,020	△58	3,160	—	426	34,031

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	6,401	9,286
減価償却費	190	211
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△100	△204
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	31	32
賞与引当金の増減額(△は減少)	12	50
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	29	12
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,551	543
投資損失引当金の増減額(△は減少)	0	△1
工事損失引当金の増減額(△は減少)	95	△95
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	19
受取利息及び受取配当金	△434	△612
支払利息	1	1
支払手数料	32	34
為替差損益(△は益)	171	△722
持分法による投資損益(△は益)	11	△11
投資有価証券評価損益(△は益)	210	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△43	△10
固定資産除却損	9	0
売上債権の増減額(△は増加)	678	△516
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,439	2,636
仕入債務の増減額(△は減少)	2,336	△3,372
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△39	△98
その他の負債の増減額(△は減少)	73	127
未払消費税等の増減額(△は減少)	△212	622
その他	△214	△327
小計	8,352	7,605
利息及び配当金の受取額	476	595
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額	△3,048	△3,500
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,778	4,699
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△36	△70
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△231	△210
投資有価証券の取得による支出	△90	△154
投資有価証券の売却による収入	107	54
貸付けによる支出	△54	△66
貸付金の回収による収入	31	119
定期預金の預入による支出	△216	△1,611
定期預金の払戻による収入	216	111
差入保証金の差入による支出	△5	△3
差入保証金の回収による収入	16	16
その他	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△264	△1,816

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	510	—
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△2,521	△2,400
ストックオプションの行使による収入	137	—
支払手数料の支払額	△32	△34
その他	△1	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,907	△2,436
現金及び現金同等物に係る換算差額	84	40
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,691	486
現金及び現金同等物の期首残高	16,047	19,738
現金及び現金同等物の期末残高	19,738	20,224

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、「開発事業」、「運用・構築事業」及び「販売事業」の3事業を含む事業会社である子会社を統括管理しております。したがって、当社グループは、「開発事業」、「運用・構築事業」及び「販売事業」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの内容は、次のとおりであります。

- | | |
|---------|---|
| 開発事業 | <ul style="list-style-type: none"> ○メインフレーム系大規模システムでの要求定義から開発・保守にいたる一貫したシステム開発 ○オープン系システムのシステム企画、開発、導入までのシステムインテグレーション ○ツールやプロダクトを活かしたビジネスツールとして提供するソリューションビジネス ○オープンソースソフトウェアによるシステム技術サポートを行うオープンソースビジネス |
| 運用・構築事業 | <ul style="list-style-type: none"> ○コンピュータシステム及びネットワークシステムの運用管理 ○データ管理、設備管理を含むオペレーション全般 ○ネットワークシステム構築 ○アウトソーシングサービス |
| 販売事業 | <ul style="list-style-type: none"> ○ライセンスを含めたパッケージソフト販売 ○インテグレーションサービスにおけるサーバーを中心とするシステム機器販売 ○IT導入に関するコンサルティング・サービス |

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法
報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

棚卸資産の評価については、簿価切下げ前の価額で評価しております。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額
	開発事業	運用・構築 事業	販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,601	6,444	19,571	51,617	—	51,617
セグメント間の内部売上高 又は振替高	178	518	78	776	△776	—
計	25,780	6,963	19,649	52,393	△776	51,617
セグメント利益 (注) 3	5,303	2,123	2,175	9,602	△1,661	7,940
セグメント資産	13,818	2,005	9,823	25,647	25,801	51,448
その他の項目						
減価償却費 (注) 2	61	22	105	189	0	190
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額 (注) 2	46	11	221	279	3	283

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△1,661百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

(2) セグメント資産の調整額25,801百万円には、セグメント間消去△343百万円と、各報告セグメントに配分していない全社資産26,145百万円が含まれております。全社資産の内容は当社グループの余資運用資金（現金及び預金、有価証券）、短期貸付金、長期投資資金（投資有価証券及び長期貸付金）及び繰延税金資産であります。

2. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用の償却額及び増加額がそれぞれ含まれております。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額
	開発事業	運用・構築 事業	販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,889	6,594	20,795	53,279	—	53,279
セグメント間の内部売上高 又は振替高	51	537	32	621	△621	—
計	25,941	7,131	20,827	53,901	△621	53,279
セグメント利益 (注) 3	5,688	2,069	2,273	10,031	△1,786	8,244
セグメント資産	15,803	2,302	8,504	26,611	25,308	51,920
その他の項目						
減価償却費 (注) 2	74	26	109	210	0	211
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額 (注) 2	30	8	253	292	—	292

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△1,786百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
- (2) セグメント資産の調整額25,308百万円には、セグメント間消去△362百万円と、各報告セグメントに配分していない全社資産25,671百万円が含まれております。全社資産の内容は当社グループの余資運用資金(現金及び預金、有価証券)、短期貸付金、長期投資資金(投資有価証券及び長期貸付金)及び繰延税金資産であります。
2. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用の償却額及び増加額がそれぞれ含まれております。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	2,438.30円	2,659.88円
1株当たり当期純利益	267.48円	443.34
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	267.19円	—

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	3,377	5,601
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	3,377	5,601
普通株式の期中平均株式数(千株)	12,625	12,633
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	13	—
(うち、新株予約権(千株))	(13)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。

4. その他

仕入、受注及び販売の状況

(1) 仕入実績

当連結会計年度の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)	前連結会計年度比 (%)
販売事業 (百万円)	9,594	△26.2
合計 (百万円)	9,594	△26.2

- (注) 1. 金額は仕入価格によっております。
2. セグメント間の取引については相殺処理しております。

(2) 受注状況

当連結会計年度の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前連結会計年度比 (%)	受注残高 (百万円)	前連結会計年度比 (%)
開発事業	26,563	5.7	6,460	11.6
運用・構築事業	6,505	△0.9	3,044	△2.8
販売事業	17,757	△22.0	6,057	△33.4
合計	50,826	△6.7	15,562	△13.6

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. セグメント間の取引については相殺処理しております。

(3) 販売実績

当連結会計年度の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)	前連結会計年度比 (%)
開発事業 (百万円)	25,889	1.1
運用・構築事業 (百万円)	6,594	2.3
販売事業 (百万円)	20,795	6.3
合計 (百万円)	53,279	3.2

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. セグメント間の取引については相殺処理しております。

以 上